令和６年度

公益社団法人大気環境学会 定時総会

議案書

令和６年９月 12 日(木)

公益社団法人大気環境学会

目次

【第１号議案】

令和５年度　公益社団法人大気環境学会　事業報告

（令和５年７月１日～令和６年６月 30 日）

1. 会員の状況

種　別	令和５年６月 30 日	令和６年６月 30 日	差引増減（△）
正 会 員	703 名	670 名	△33 名
法人会員 A	112 団体	105 団体	△7 団体
法人会員 B	47 団体	49 団体	2 団体
学生会員	108 名	108 名	–
賛助会員	15 団体（16 口）	15 団体（16 口）	–

正会員数は、令和４年度は 18 名の減少であったが、令和５年度は 33 名の減少となった。

学生会員は、令和４年度は 29 名の増加であったが、令和５年度は増減がなかった。

法人会員 A は、令和４年度は４団体の減少であったが、令和５年度は７団体の減少となった。

法人会員 B は、令和４年度は２団体の減少であったが、令和５年度は２団体の増加となった。

賛助会員は、令和４年度は１団体(1 口)の減少であったが、令和５年度は増減がなかった。

2. 年会報告

第 64 回大気環境学会年会を、国立研究開発法人産業技術総合研究所つくば中央共用講堂（茨城県つくば市）にて、令和５年９月 13 日（水）-15 日（金）に開催した。Peatix を活用した事前振込の実施により現地での現金取扱いを廃止、また外部委託を機器展示・受付・印刷物および看板制作・ポスター会場設営のみに限定するなど、本部年会委員会と現地実行委員会が連携して、効率的な年会運営を行った。参加者は 401 名であり、内訳は正会員 219 名、学生会員 85 名、法人会員 A8 名、法人会員 B16 名、賛助会員 23 名、名誉会員３名、非会員 46 名であった。研究発表の件数は 219 件（一般研究口頭発表 101 件、ポスター発表 118 件）であった。さらに、学会賞受賞講演２件、特別集会３件（講演 15 件）、分科会６件（講演 18 件）が行われた。環境機器展では、ブース展示 12 件（13 ブース）とカタログ展示４件の参加があった。プログラム集への広告掲載は 11 件であった。ホームページへのバナー掲載は 4 件であった。出展企業による技術セミナーは 1 日目に 2 会場と 2 日目に 1 会場で開催し、合わせて 6 件の発表が行われた。ご協力いただいた企業・団体の皆様に、心より感謝の意を表する。

3. 総会開催

令和５年９月 14 日に国立研究開発法人 産業技術総合研究所 つくばセンター 共用講堂で令和５年度定時総会を開催した。審議及び報告事項は以下の通りである。

１）令和４年度事業報告、収支決算報告及び監査報告

米持真一常任理事より令和 4 年度事業報告があり、中井里史常任理事より令和 4 年度収支決算報告があり、大原利眞監事より監査報告がなされた。議長より質疑を求めた後、これらの報告を全員一致で決議した。

2）令和 5 年度事業計画及び収支予算について

米持真一常任理事より令和 5 年度事業計画が報告され、中井里史常任理事より令和 5 年度収支予算の説明がなされた。事業計画及び収支予算については、定款第 35 条により、事業年度開始前に理事会を開催し、既に承認されているため、本総会では事後報告であった。

3) 名誉会員の推戴

伊豆田猛会長より、吉門洋会員、太田幸雄会員、石井康一郎会員、北田敏廣会員、福崎紀夫会員を名誉会員に推戴する旨の報告があり、承認された。

4) 第65回及び第66回大気環境学会年会開催地

第65回大気環境学会年会を令和6年9月11～13日に慶應義塾大学日吉キャンパスを主会場とし、年会長を奥田知明会員（慶應義塾大学）として開催する予定であることが報告され、承認された。第66回大気環境学会年会は、年会委員会で年会長および開催地等を検討中であることが報告され、承認された。

4. 理事会等開催

4.1. 理事会

１）定例の会議の開催

第 1 回：令和 5 年 8 月 16 日（国際文献社を基地局とした Web 開催）

審議内容：令和 4 年度事業報告、収支決算、監査結果、定時総会(令和 5 年 9 月 14 日)の案内、入退会希望者、「大気環境未来 60」応募事業、名誉会員の推戴、第 64 回年会の準備状況報告、等

第 2 回：令和 5 年 9 月 12 日（産業技術総合研究所　中央事業所 共用講堂小会議室）

審議内容：入退会者承認、令和 5 年度年会総会・定時総会について、等

第 3 回：令和 6 年 2 月 27 日　メール審議によるみなし決議（法人法第 96 条”理事会の決議の省略”適用）

審議内容：入退会希望者の承認、会長・副会長及び常任理事の職務執行状況の報告、第 65 回年会の開催準備状況、第 66 回年会の開催準備状況、理事候補者・監事候補者の選挙、等

第 4 回：令和 6 年 4 月 19 日　メール審議によるみなし決議（法人法第 96 条”理事会の決議の省略”適用）

審議内容：大気環境学会の免税事業者から課税事業者への移行

第 5 回：令和 6 年 6 月 21 日（国際文献社を基地局とした Web 開催）

審議内容：令和 6 年度事業計画・収支予算・資金調達及び設備投資見込、令和 6 年度定時総会の開催方法と総会議案、役員選挙、学会賞選考状況、論文賞選考結果、名誉会員推戴、業務遂行状況報告、各委員会報告、入退会報告、課税事業者への移行等

２）令和 4 年度事業報告及び収支決算の承認（第 1 回理事会）

原案の通り、承認された。

３）令和 5 年度事業計画及び収支予算の承認（第 5 回理事会）

原案の通り、承認された。この結果を受け令和 6 年 6 月３０日に内閣府に事業計画書等を提出した。また、学会ホームページに掲載した。

４）名誉会員の推戴について（第 5 回理事会）

原案の通り、承認された。

4.2 常任理事会

１）定例の会議の開催

第１回：令和５年８月７日、第２回：令和５年 11 月 20 日、第３回：令和６年３月 19 日、第４回：令和６年５月 30 日（いずれも国際文献社を基地局とした Web 開催）。その他、適宜メール等により、必要事項を協議した。

5. 支部長会：（全体）

令和５年９月 12 日（国立研究開発法人産業技術総合研究所）

支部活動の現状と課題、本部への要望・提言等について協議した。

6. 出版等

１）大気環境学会誌

第 58 巻４号～第 59 巻３号の計６号（電子ジャーナル）を刊行した。これに加え、第 58 巻１号～６号をまとめた POD 版（冊子体）を２月に発刊し、法人会員と賛助会員に配付した。

２）第 64 回大気環境学会年会講演要旨集を刊行（年会事務局）した。

３）日中韓大気環境学会合同英文誌 AJAE （Asian Journal of Atmospheric Environment）を発行した。
令和５年からは出版社を Springer に移行しており同社 Web にて随時公開中となっている。令和５年度は Vol. 17 Article number 12–18、Vol.18 Article number 1–9 を公開した。

7. 委員会開催

7.1. 倫理委員会

特に検討が必要な事項はなかったため、令和4年度は倫理委員会を開催しなかった。

7.2. 国際交流委員会

韓国大気環境学会主催による日中韓共同ワークショップ「For a better understanding of air pollution in East Asia (3rd)」が、令和５年 10 月 25 日、韓国プサンにて開催され、大気環境学会からは副会長１名、国際交流委員２名が参加し講演を行った。韓国大気環境学会から２件、中国環境科学学会大気分会から１ 件の講演がなされた。参加者約 50 名。

7.3. 学会賞選考委員会

令和６年５月 31 日を締切として、令和６年度の大気環境学会賞の公募を行なったが、推薦がなかったため、公募期間を６月 17 日まで延長した。その後、学会賞選考委員会（令和６年６月 18 日、Web 会議）を開催し、学術賞の選考を行い、選考結果を常任理事会に報告した。

7.4. 編集委員会（編集実務委員会）

１）定例の会議の開催

定例の会議を開催して学会誌の編集企画を行い、計６号（第58巻第４号～第59巻第３号）を刊行した。また、適宜メール審議により必要事項を協議した。

第１回：令和5年9月26日、第２回：令和5年12月7日、第３回：令和6年2月2日、
第４回：令和6年4月1日、第５回：令和6年6月3日

２）論文審査

令和5年に投稿のあった論文等について、掲載可否の審査を行った。

３）入門講座等の企画・掲載

入門講座を企画、掲載した。また、あおぞら、支部・分科会だより、研究室紹介を掲載した。

４）その他

入門講座および解説のダウンロード販売を行った。

7.5. 論文賞選考委員会

令和5年に出版されたすべての原著論文（2報）と技術調査報告（4報）、及びAJAE誌への掲載論文(6編)について主査1名、副査3名により評価を行った。その結果を受け論文賞選考委員会（令和6年5月30日）を開催し、授賞候補を常任理事会に報告した。

7.6. 広報委員会

研究成果の社会還元のための広報活動、会員増強のための広報活動、次世代研究者確保のための広報活動、関連他学会との連携と差別化等の具体化に向けて検討を行った。また、日本学術会議傘下の環境工学連合小委員会委員主催講演会に講師を派遣した。大気中マイクロプラスチック研究に関する世界的関心の高まりから、企画運営委員会、産官学民連絡評議会、エアロゾル学会傘下の大気中マイクロおよびナノプラスチック研究会と連携して、東南アジア研究者６名を招聘してワークショップを開催した。

7.7. 企画運営委員会・産官学民連絡協議会

大気中マイクロプラスチック研究に関する世界的関心の高まりから、広報委員会、エアロゾル学会傘下の大気中マイクロおよびナノプラスチック研究会と連携して、東南アジア研究者6名を招聘してワークショップを開催した。

7.8. AJAE 委員会

韓国大気環境学会と協力して AJAE（Asian Journal of Atmospheric Environment）を発行した。令和 5 年からは出版社を Springer に移行しており、同社 Web にて随時公開中となっている。

7.9.「大気環境未来 60」募金委員会

令和 6 年 7 月 1 日を締切として、令和 6 年度の「大気環境未来 60」募金を活用した事業公募を行った。ホームページへの掲載、会員への一斉メール等で周知をはかった結果、募集期間中に 4 件の応募があった。

7.10. 年会委員会

第 64 回大気環境学会年会の準備および運営と第 65 回年会の事前準備を実施した。具体的には、年会委員会として第 64 回大気環境学会年会実行委員会および同年会に出席した(令和 5 年 7 月 6 日、7 月 7 日、8 月 1 日、9 月 12 日、9 月 13 日、9 月 14 日、9 月 15 日、10 月 27 日、11 月 10 日)。また、第 65 回大気環境学会年会実行委員会に出席した（令和 5 年 11 月 28 日、12 月 6 日、12 月 12 日、12 月 14 日、12 月 25 日、令和 6 年 2 月 15 日、3 月 21 日、3 月 22 日、3 月 29 日、4 月 2 日、4 月 11 日、4 月 12 日、4 月 30 日)。

7.11. 地方環境研究所等委員会

令和 5 年 10 月 31 日、「水・大気環境連携セミナー　– 地域環境研究の未来に向けて – 」を日本水環境学会

と共同で開催した。オンライン（Zoom ウェビナー）参加者 350 名。

8. 支部報告

8.1. 北海道・東北支部

１）支部総会、幹事会：令和 5 年 10 月 27 日（金）12：00～13：15(やまぎん県民ホール・Web 開催と対面開催の併用)

①支部総会：令和 4 年度支部活動報告及び決算報告、令和 5 年度の活動方針と予算案の承認。次回支部総会の開催地の決定（参加者 16 名、委任 13 名）

②幹事会：次回支部総会の開催地（案）の決定（参加者 9 名)。

③研究発表会（総会と同会場、Web 同時開催）

口頭発表 10 件、「積雪寒冷地における雪および冬の変化に関する気候変動影響の分類と適応策」ほか、（参加者 36 名）

8.2. 関東支部

１）支部総会：令和 6 年 5 月 24 日 12：30～12：50 (日本環境衛生センター東京事務所・Web 同時開催)

２）議事：令和 5 年度支部・部会活動報告、令和 5 年度中間会計報告、令和 6 年度活動計画案、令和 6 年度予算案、参加者 150 名（委任状 108 名）

３）支部講演会：令和 6 年 5 月 24 日（総会と同会場、Web 同時開催）

テーマ：「光化学オキシダントの低減のために～VOC 排出に着目した最近の取組～」、講演 4 件、参加者 83 名

４）部会活動報告（順不同）

①大気沈着部会

講演会「第 35 回酸性雨東京講演会（共催：酸性雨分科会)」の開催（令和 6 年 6 月 11 日：Web 開催)、テーマ：「酸性雨問題の転換－窒素負荷の今後について考える」、講演 1 件

②粒子状物質部会

講演会（共催：関東地方大気環境対策推進連絡会微小粒子状物質調査会議）の開催（令和 6 年 3 月 18 日：Web 開催)、講演 4 件

③植物影響部会

講演会（共催：植物分科会）の開催（令和 5 年 12 月 11 日：Web 開催)。演題：「1. Biogenic volatile organic compound emission from vegetation（植物における生物起源揮発性有機化合物放出)」ほか、講演 2 件

④科学コミュニケーション部会

講演会「大気環境常時監視データはまだまだ活用できる」「モニタリング：これまでとこれから」（令和 6 年 6 月 7 日：Web 開催）講演 2 件

8.3. 中部支部

１）評議員会：令和 6 年 6 月 20 日～6 月 24 日（メール審議）

議題：令和 5 年度中部支部総会へ提出する議題・資料について

２）支部総会：令和 6 年 6 月 29 日（Web 開催、委任状含めて参加者 25 名）

議題：令和４年度の事業報告・決算報告・会計監査の報告、令和５年度事業経過報告、令和５年度決算見込みについて、令和６年度事業計画（案）・予算（案）、その他

8.4. 近畿支部

１）支部総会・シンポジウム：令和５年８月４日（大阪健康安全基盤研究所 OIPH ホール・対面開催）
令和４年度事業報告ならびに収支決算報告、令和４年度委員会・部会活動報告、令和５年度事業計画ならびに予算案の承認

２）シンポジウム：「光化学オキシダント －古くて新しい大気汚染の課題－」、講演３件「オゾン生成機構における未把握反応経路の HOx 反応性測定に基づく評価」、「長期排出インベントリ・大気質シミュレーション・大気観測データに基づくオゾン濃度低減対策効果の評価」、「植物に対するオゾンの影響」（参加者 33 名）

3）理事会・運営幹事会：令和５年８月４日（第１回、大阪健康安全基盤研究所 OIPH ホール・対面開催）、令和６年２月 27 日（第２回、紀本電子工業(株) KE ホール・対面開催）

4）委員会・部会活動

①学術委員会：大気環境学会近畿支部研究発表会(第 12 回)、令和５年 12 月 26 日（大阪健康安全基盤研究所 OIPH ホール）、一般発表 14 件、特別講演１件、参加者 48 名

②情報・広報委員会：大気環境学会近畿支部ホームページの運営

③気象拡散部会：講演会「大気拡散研究の現状と展望」、令和６年６月 12 日（大阪公大 I-site なんば・対面開催）講演３件、参加者：25 名

④反応と測定部会・植物影響部会・エアロゾル部会・合同講演会「植物起源揮発性有機化合物（BVOC）の大気への放出とその後」、令和６年６月３日（大阪公立大学 I-site なんば・Web 同時開催）、
講演３件、参加者 68 名

⑤人体影響部会：講演「近年喘息症状の原因とされている気道粘液について－MUC5AC と大気汚染物質や COVID-19 の関係－」「NO2 規制における HONO の関与の可能性－生体影響の観点から－」「NO2 規制における HONO の関与について－測定の観点から－」令和６年３月１日（Web 同時開催）、講演３件、
参加者 37 名

8.5. 中国・四国支部

１）支部役員会：令和６年５月 26 日（Web 開催）
令和 4～5 年度支部役員・令和５年度事業報告・収支決算報告及び令和６年度事業計画・予算計画について

２）支部総会：令和６年５月 27 日（月）～6 月３日（月）（支部ホームページに資料掲載）
令和 4～5 年度支部役員・令和５年度事業報告・収支決算報告及び令和６年度事業計画・予算計画について

３）支部ニュースレター
令和５年７月～令和６年６月に 11 回配信

8.6. 九州支部

１）支部総会：令和６年３月８日（アクロス福岡 607 会議室）
議事：令和 4 年度事業実施報告及び収支決算報告、令和 5 年度事業計画及び予算、九州支部発表会における「学生・若手研究者賞」(仮称)の新設

２）支部役員会：令和６年３月８日（アクロス福岡 607 会議室）

議事：令和４年度事業実施報告及び収支決算報告、令和５年度事業計画及び予算、九州支部発表会おける「学生・若手研究者賞」(仮称)の新設

３）支部研究発表会：令和６年３月８日（アクロス福岡 607 会議室）
室内環境学会九州支部と合同で開催。演題７件（大気環境５件、室内環境２件）

9. 分科会等報告

9.1. 植物分科会

１）年会分科会：令和５年９月 13 日（Web 開催と対面開催の併用）

２）講演会の開催（関東支部植物影響部会との共催）：令和５年９月 13 日（Web 開催）
テーマ：「植物における生物起源揮発性有機化合物放出」ほか、講演２件

9.2. 大気環境モデリング分科会

１）講演会（主催）：令和５年９月 13 日（第 64 回大気環境学会年会、Web ハイブリッド開催）
テーマ「分科会交流から考える大気環境問題の予報・予測」講演３件　参加者 65 名

２）研究集会「第７回アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会」:
令和６年３月 14 日～15 日（Web 開催と対面開催の併用）（主催：九州大学応用力学研究所全国共同利用研究集会)。発表 14 件、参加者 35 名

9.3. 酸性雨分科会

１）年会分科会：令和5年９月13日（Web ハイブリッド開催）
テーマ：「光化学オキシダントなどの大気汚染物質の動態やその生態影響」、講演3件、参加者50名

２)第35回酸性雨東京講演会（関東支部大気沈着部会、酸性雨研究会との共催）：令和6年６月11日（Web開催)、テーマ：「酸性雨問題の転換：窒素負荷の今後について考える」、講演1件

② 酸性雨関西講演会：令和6年６月3日（Webハイブリッド開催)、テーマ：「植物起源揮発性有機化合（ BVOC）の大気への放出とその後」

③ メールニュースの発行
493号～502号まで10回発行（メール会員226人・令和6年5月29日現在）

9.4. 環境大気モニタリング分科会

１）年会分科会（第 53 回研究会）：令和５年９月 13 日（対面開催）
テーマ：「タイヤおよびタイヤ摩耗粉じん等の環境影響を探る」、講演３件、参加者 53 名

2）講演会（第 54 回研究会）：令和６年３月 15 日（対面及び Web 開催）
テーマ：「常時監視に関する最近の話題」（全国環境研協議会との共催)、講演３件、参加者 180 名

3）幹事会
令和５年 12 月８日：第 54 回研究会の企画、テーマ、構成について検討した。
令和６年４月 17 日：年会での分科会講演企画について検討した。

9.5. 健康影響分科会

１）年会分科会：令和５年９月 14 日（対面開催）
テーマ：「大気汚染の健康影響研究のための新たなアプローチ」、講演４件、参加者 21 名

9.6. モビリティ環境分科会

１）年会分科会：令和５年９月 13 日（対面開催）

テーマ「タイヤ・路面摩耗粉塵（Tire and Road Wear Particles）に関して」、講演３件、参加者 76 名。

9.7. 室内環境分科会

１）年会分科会：令和５年９月 13 日（産業技術総合研究所・対面開催）

テーマ：「室内空気の換気・清浄化技術およびその評価方法」講演３件、参加者 23 名

9.8. 放射性物質動態分科会

１）年会分科会：令和5年9月13日（第64回年会時）、大気モデリング分科会，放射性物質動態分科会，気候変動研究会合同分科会、テーマ「分科会交流から考える大気環境問題の予報・予測」、講演1件、日本原子力研究開発機構・寺田宏明氏「原子力緊急時対応のための放射性物質大気拡散予測システム」参加者約30名。

２）「東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能大気環境汚染―これまでとこれから―」を出版に向けて執筆中

9.9. 臭気環境分科会

１）年会分科会：令和５年９月 13 日（WEB ハイブリッド開催）テーマ「地方公共団体の施策と室内臭気の対策―つくば市の悪臭公害への取り組み及び喫煙室や作業環境における臭気等の対策事例―」、講演２件、参加者 21 名

9.10. 都市大気エアロゾル分科会

１）講演会開催、「植物起源揮発性有機化合物（BVOC）の大気への放出とその後」、令和６年６月３日（Web 開催と対面開催の併用）講演１件、参加者 70 名

9.11. 気候変動研究会

１）研究集会開催、「～アツアツの未来にどう適応？！～」、令和６年２月２日（Web 開催）講演４件、参加者 89 名

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第３項に規定する附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

令和６年８月

公益社団法人　大気環境学会

【第１号議案】

貸借対照表

2024年 6月30日現在

公益社団法人　大気環境学会

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	18,023,025	15,295,147	2,727,878
未収会費	670,000	1,023,400	△ 353,400
未収金	235,000	81,000	154,000
前払金	110,920	326,400	△ 215,480
流動資産合計	19,038,945	16,725,947	2,312,998
２．固定資産			
(1) その他固定資産			
斎藤基金	1,269,500	1,269,500	0
その他固定資産合計	1,269,500	1,269,500	0
固定資産合計	1,269,500	1,269,500	0
資産合計	20,308,445	17,995,447	2,312,998
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	0	61,175	△ 61,175
前受金	105,000	130,000	△ 25,000
前受会費	6,711,600	6,300,000	411,600
流動負債合計	6,816,600	6,491,175	325,425
負債合計	6,816,600	6,491,175	325,425
Ⅲ　正味財産の部			
１．一般正味財産	13,491,845	11,504,272	1,987,573
正味財産合計	13,491,845	11,504,272	1,987,573
負債及び正味財産合計	20,308,445	17,995,447	2,312,998

正味財産増減計算書

2023年 7月 1日から2024年 6月30日まで

公益社団法人　大気環境学会

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	10,615,000	10,825,000	△ 210,000
正会員会費	6,630,000	7,040,000	△ 410,000
学生会員会費	405,000	395,000	10,000
法人会員A会費	1,180,000	1,180,000	0
法人会員B会費	1,500,000	1,410,000	90,000
賛助会員会費	800,000	800,000	0
終身会員会費	100,000	0	100,000
事業収益	7,288,047	8,117,624	△ 829,577
大気環境学会誌事業	1,088,047	1,040,624	47,423
掲載料	555,000	477,000	78,000
広告料	360,000	540,000	△ 180,000
会誌販売	173,047	23,624	149,423
年会事業	6,200,000	7,077,000	△ 877,000
参加費	2,948,000	2,929,000	19,000
要旨集販売	90,000	150,000	△ 60,000
展示料	2,150,000	2,850,000	△ 700,000
広告料	570,000	680,000	△ 110,000
発表申込金	442,000	468,000	△ 26,000
雑収益	155,379	186,255	△ 30,876
受取利息	127	113	14
雑収益	155,252	186,142	△ 30,890
経常収益計	18,058,426	19,128,879	△ 1,070,453
(2) 経常費用			
事業費	14,552,131	16,252,844	△ 1,700,713
臨時雇賃金	156,200	326,150	△ 169,950
会議費	333,295	179,200	154,095
旅費交通費	477,525	53,980	423,545
通信運搬費	50,847	73,134	△ 22,287
消耗品費	200,029	667,279	△ 467,250
印刷製本費	1,185,924	1,401,035	△ 215,111
賃借料	0	122,993	△ 122,993
諸謝金	271,923	286,883	△ 14,960
支払負担金	80,000	223,667	△ 143,667
支払補助金	30,568	77,311	△ 46,743
委託費	11,457,199	12,623,557	△ 1,166,358
支払手数料	258,621	77,435	181,186
未収会費放棄損	50,000	135,000	△ 85,000
雑費	0	5,220	△ 5,220
管理費	1,518,722	1,728,599	△ 209,877
会議費	0	28,600	△ 28,600
旅費交通費	9,810	89,220	△ 79,410
通信運搬費	9,851	15,818	△ 5,967
印刷製本費	5,117	2,900	2,217
支払補助金	309,366	309,995	△ 629
委託費	1,116,784	1,125,587	△ 8,803
支払手数料	16,244	19,359	△ 3,115
未収会費放棄損	50,000	135,000	△ 85,000
租税公課	1,550	2,120	△ 570
経常費用計	16,070,853	17,981,443	△ 1,910,590
評価損益等調整前当期経常増減額	1,987,573	1,147,436	840,137
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,987,573	1,147,436	840,137
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,987,573	1,147,436	840,137
一般正味財産期首残高	11,504,272	10,356,836	1,147,436
一般正味財産期末残高	13,491,845	11,504,272	1,987,573
Ⅱ　正味財産期末残高	13,491,845	11,504,272	1,987,573

予算対比正味財産増減計算書

2023年 7月 1日から2024年 6月30日まで

公益社団法人　大気環境学会

（単位：円）

科　　目	予算額	決算額	差　異
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	10,510,000	10,615,000	△ 105,000
正会員会費	6,800,000	6,630,000	170,000
学生会員会費	350,000	405,000	△ 55,000
法人会員A会費	1,120,000	1,180,000	△ 60,000
法人会員B会費	1,440,000	1,500,000	△ 60,000
賛助会員会費	800,000	800,000	0
終身会員会費	0	100,000	△ 100,000
事業収益	7,010,000	7,288,047	△ 278,047
大気環境学会誌事業	1,100,000	1,088,047	11,953
掲載料	600,000	555,000	45,000
広告料	300,000	360,000	△ 60,000
会誌販売	200,000	173,047	26,953
セミナー事業	150,000	0	150,000
年会事業	5,500,000	6,200,000	△ 700,000
参加費	2,000,000	2,948,000	△ 948,000
要旨集販売	0	90,000	△ 90,000
展示料	2,100,000	2,150,000	△ 50,000
広告料	900,000	570,000	330,000
発表申込金	500,000	442,000	58,000
調査研究事業	260,000	0	260,000
環境省受託	260,000	0	260,000
雑収益	100	155,379	△ 155,279
受取利息	100	127	△ 27
雑収益	0	155,252	△ 155,252
経常収益計	17,520,100	18,058,426	△ 538,326
(2) 経常費用			
事業費	16,857,000	14,552,131	2,304,869
臨時雇賃金	300,000	156,200	143,800
会議費	115,000	333,295	△ 218,295
旅費交通費	490,000	477,525	12,475
通信運搬費	180,000	50,847	129,153
消耗品費	420,000	200,029	219,971
印刷製本費	1,480,000	1,185,924	294,076
賃借料	500,000	0	500,000
諸謝金	360,000	271,923	88,077
支払負担金	800,000	80,000	720,000
支払補助金	100,000	30,568	69,432
委託費	11,950,000	11,457,199	492,801
支払手数料	112,000	258,621	△ 146,621
未収会費放棄損	50,000	50,000	0
管理費	2,031,000	1,518,722	512,278
会議費	30,000	0	30,000
旅費交通費	150,000	9,810	140,190
通信運搬費	20,000	9,851	10,149
消耗品費	10,000	0	10,000
印刷製本費	20,000	5,117	14,883
支払負担金	10,000	0	10,000
支払補助金	500,000	309,366	190,634
委託費	1,200,000	1,116,784	83,216
支払手数料	28,000	16,244	11,756
未収会費放棄損	50,000	50,000	0
雑費	10,000	0	10,000
租税公課	3,000	1,550	1,450
経常費用計	18,888,000	16,070,853	2,817,147
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,367,900	1,987,573	△ 3,355,473
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,367,900	1,987,573	△ 3,355,473
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,367,900	1,987,573	△ 3,355,473
一般正味財産期首残高	11,504,272	11,504,272	0
一般正味財産期末残高	10,136,372	13,491,845	△ 3,355,473
Ⅱ　正味財産期末残高	10,136,372	13,491,845	△ 3,355,473

正味財産増減計算書内訳表

2023年 7月 1日から2024年 6月30日まで

公益社団法人　大気環境学会　　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１．経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	6,084,500	4,530,500	0	10,615,000
正会員会費	3,315,000	3,315,000	0	6,630,000
学生会員会費	283,500	121,500	0	405,000
法人会員A会費	826,000	354,000	0	1,180,000
法人会員B会費	1,050,000	450,000	0	1,500,000
賛助会員会費	560,000	240,000	0	800,000
終身会員会費	50,000	50,000	0	100,000
事業収益	7,288,047	0	0	7,288,047
大気環境学会誌事業	1,088,047	0	0	1,088,047
掲載料	555,000	0	0	555,000
広告料	360,000	0	0	360,000
会誌販売	173,047	0	0	173,047
年会事業	6,200,000	0	0	6,200,000
参加費	2,948,000	0	0	2,948,000
要旨集販売	90,000	0	0	90,000
展示料	2,150,000	0	0	2,150,000
広告料	570,000	0	0	570,000
発表申込金	442,000	0	0	442,000
雑収益	150,252	5,127	0	155,379
受取利息	0	127	0	127
雑収益	150,252	5,000	0	155,252
経常収益計	13,522,799	4,535,627	0	18,058,426
(2) 経常費用				
事業費	14,552,131	0	0	14,552,131
臨時雇賃金	156,200	0	0	156,200
会議費	333,295	0	0	333,295
旅費交通費	477,525	0	0	477,525
通信運搬費	50,847	0	0	50,847
消耗品費	200,029	0	0	200,029
印刷製本費	1,185,924	0	0	1,185,924
諸謝金	271,923	0	0	271,923
支払負担金	80,000	0	0	80,000
支払補助金	30,568	0	0	30,568
委託費	11,457,199	0	0	11,457,199
支払手数料	258,621	0	0	258,621
未収会費放棄損	50,000	0	0	50,000
管理費	0	1,518,722	0	1,518,722
旅費交通費	0	9,810	0	9,810
通信運搬費	0	9,851	0	9,851
印刷製本費	0	5,117	0	5,117
支払補助金	0	309,366	0	309,366
委託費	0	1,116,784	0	1,116,784
支払手数料	0	16,244	0	16,244
未収会費放棄損	0	50,000	0	50,000
租税公課	0	1,550	0	1,550
経常費用計	14,552,131	1,518,722	0	16,070,853
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,029,332	3,016,905	0	1,987,573
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,029,332	3,016,905	0	1,987,573
２．経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,029,332	3,016,905	0	1,987,573
当期一般正味財産増減額	△ 1,029,332	3,016,905	0	1,987,573
一般正味財産期首残高				11,504,272
一般正味財産期末残高				13,491,845
Ⅱ　正味財産期末残高				13,491,845

財産目録

2024年6月30日現在

公益社団法人　大気環境学会　　（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　　額
（流動資産）				
	現金預金	普通預金	運転資金として	16,592,303
		三井住友銀行新宿通支店49		12,241,504
		三菱UFJ信託銀行新宿支店50		50,008
		三井住友銀行新宿通支店80		105,002
		三井住友銀行新宿通支店91		11
		三井住友銀行新宿通支店05		1,182,663
		みずほ銀行新宿支店26		3,013,115
		郵便振替	運転資金として	1,430,722
		郵便振替口座9049		1,430,722
	未収会費		2023年度の未納会費	670,000
	未収金		広告料、掲載料	235,000
	前払金		公益目的事業の業務に使用する翌事業年度委託費	110,920
流動資産合計				19,038,945
（固定資産）				
その他固定資産				
	斎藤基金	定期預金		1,269,500
		三井住友銀行新宿通支店31		1,269,500
固定資産合計				1,269,500
資産合計				20,308,445
（流動負債）				
	前受金	翌事業年度以降の年会参加費等	公益目的事業に使用する翌事業年度年会参加費等	105,000
	前受会費			6,711,600
	正会員	翌事業年度以降の会費	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する翌事業年度会費	5,500,000
	学生会員	翌事業年度以降の会費	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する翌事業年度会費	265,000
	法人会員A	翌事業年度以降の会費	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する翌事業年度会費	386,600
	法人会員B	翌事業年度以降の会費	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する翌事業年度会費	360,000
	賛助会員	翌事業年度以降の会費	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する翌事業年度会費	100,000
	終身会員	翌事業年度以降の会費	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する翌事業年度会費	100,000
流動負債合計				6,816,600
負債合計				6,816,600
正味財産				13,491,845

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針
（1）計算書類及びその附属明細書の作成基準
「公益法人会計基準」（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会、平成30年6月15日改正）を採用している。

（2）消費税の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式を採用している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
該当なし

①費用配賦基準

管理費の配賦基準

科目名	公益目的 事業共通	法人会計	合計	備考
正会員会費	50%	50%	100%	
学生会員会費	70%	30%	100%	
法人会員A会費	70%	30%	100%	
法人会員B会費	70%	30%	100%	
賛助会員会費	70%	30%	100%	
終身会員会費	50%	50%	100%	
通信運搬費	80%	20%	100%	
消耗品費	80%	20%	100%	
印刷製本費	80%	20%	100%	
委託費	80%	20%	100%	
支払手数料	80%	20%	100%	
未収会費放棄損	50%	50%	100%	

②管理費配賦額

管理費	決算総額	配賦金額		備考
		公益目的 事業共通	法人会計	
正会員会費	6,630,000	3,315,000	3,315,000	
学生会員会費	405,000	283,500	121,500	
法人会員A会費	1,180,000	826,000	354,000	
法人会員B会費	1,500,000	1,050,000	450,000	
賛助会員会費	800,000	560,000	240,000	
終身会員会費	100,000	50,000	50,000	
通信運搬費	49,258	39,407	9,851	
消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	25,591	20,474	5,117	
委託費	5,583,923	4,467,139	1,116,784	
支払手数料	81,218	64,974	16,244	
未収会費放棄損	100,000	50,000	50,000	
合計	**16,454,990**	10,726,494	5,728,496	

監　査　報　告　書

2024 年 8 月 7 日

公益社団法人　大気環境学会
　会長　伊豆田　猛　殿

公益社団法人　大気環境学会

監事　大原利眞　印

監事　大泉毅　印

監事は、2023 年 7 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

１．監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書（内訳表を含む）、財務諸表に対する注記及びその附属明細書）について検討いたしました。

２．監査の結果

(1)　事業報告等の監査結果

一　事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)　財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和５年度監査結果

去る令和６年８月７日（水）15時より、Web会議にて、伊豆田猛学会長、中井里史副会長（財務担当）、米持真一総務担当常任理事、事務局の立会のもとで、令和５年度事業実績及び一般会計決算について監査を実施致しました。

監査の結果、事業は適正に実施され、また、会計決算につきましては、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、預金残高など精査致しました結果、適正に処理されていることを確認致しました。

なお、学会の会計状況及び活動状況につきまして、以下の点につきまして口頭にて要望することと致しました。

「要望事項」

令和５年度は、当初計画に沿って適切に会務が執行されました。特に、本部年会委員会と現地実行委員会が連携した効率的な年会開催、日本水環境学会との水・大気環境連携セミナーの共同開催は、今後の持続可能な学会運営に資する新たな取組として特筆されます。

財政面では、効率的な会務の運営、効率的でコンパクトな年会運営、国際誌AJAE費用負担の解消などにより単年度で黒字となり、昨年度に引き続き、正味財産が増加しました。一方で、学会員は依然として長期減少傾向が続き、それに伴って学会運営に支障が生じ、また、大気環境学会誌への投稿が減少するなど、今後の学会運営は未だ楽観視できる状況ではないことは言うまでもありません。

以上のことから、令和６年度も引き続き、柔軟な学会運営に努めるとともに、増加しつつある正味財産を活用した新たな事業展開によって、学会の魅力を高め、会員や事業収入の増加にもつながるような取組に期待致します。また、大きな社会課題となっている気候変動や生物多様性保全などへの対応や、持続可能な地域づくり・良好な大気環境づくりに資する取組を、他の学術組織や行政機関、NPO/NGOなどと連携して、さらに推進していく必要があると考えられます。

大気汚染研究全国協議会として設立されてから65年、長く大気汚染問題に取り組み、清浄な大気質の実現に大きく貢献してきた大気環境学会は今、岐路に立っています。中長期的に持続可能な学会をめざして、本学会の未来に向けた議論が多くの会員の参加によって進むことを期待致します。

監事　大原　利眞

監事　大泉　毅

大気環境学会役員の選任について

（１） 理事候補者 (選挙区ごと50音順)

選挙区	理事定数	氏名	所属
北海道・東北支部	2	上田 佳代	北海道大学
		齊藤 貢	岩手大学
関東支部	9	伊豆田 猛	東京農工大学大学院
		奥田 知明	慶應義塾大学
		櫻井 達也	明星大学
		茶谷 聡	国立研究開発法人 国立環境研究所
		中井 里史	横浜国立大学大学院
		速水 洋	早稲田大学
		松田 和秀	東京農工大学
		森川 多津子	(一財)日本自動車研究所
		米持 真一	埼玉県環境科学国際センター
中部支部	3	長田 和雄	名古屋大学大学院
		佐瀬 裕之	(一財)日本環境衛生センター
		皆巳 幸也	石川県立大学
近畿支部	3	亀田 貴之	京都大学大学院
		紀本 岳志	紀本電子工業(株)
		島 正之	兵庫医科大学
中国・四国支部	2	大原 真由美	-
		樋口 隆哉	山口大学
九州支部	2	張 代洲	熊本県立大学
		豊永 悟史	熊本県保険環境科学研究所

（２） 監事候補者

選挙区	監事定数	氏名	所属
東日本	1	大原 利眞	(一財)日本環境衛生センター
西日本	1	大泉 毅	-

令和6年度（公社）大気環境学会事業計画

（令和6年7月1日から令和7年6月30日まで）

1. 大気環境に関する普及啓発事業（公益目的事業）

1.1 会誌等の発行事業

大気環境の学会誌「大気環境学会誌」及び英文専門の「AJAE(Asian Journal of Atmospheric Environment)」の発行を通じて大気環境に関する情報の普及啓発を行い、もって学術及び文化の発展に寄与し、大気環境保全のために資することを目的として実施する。

(1)　大気環境学会誌の発行

機関誌として「大気環境学会誌」の電子ジャーナルを年6回発行する。同誌には、研究論文、総説、入門講座等を掲載する。なお、研究論文、総説、入門講座等は、J-STAGEを通じて、不特定多数の方にも閲覧可能とする（一部を除く）。

(2)　AJAE(Asian Journal of Atmospheric Environment)の発行

英文専門の学会誌であるAJAEには、主に日中韓三ヶ国の大気環境学会会員から投稿された大気環境に関する英文の論文を掲載する。AJAEは、オープンアクセスジャーナルとしてアクセプトされた論文から順次Web公開する。

1.2 年会、シンポジウム及び講演会等の開催事業

大気環境に関する年会、シンポジウム及び講演会等の開催を通じて、大気環境に関する情報の普及啓発を行い、もって学術及び文化の発展に寄与し、大気環境保全のために資することを目的として実施する。

(1)　年会

第65回大気環境学会年会を以下の日程で開催する。

会　期　　：　令和6年9月11日（水）～9月13日（金）
会　場　　：　慶應義塾大学
学 会 長　：　伊豆田猛（東京農工大学）
年 会 長　：　奥田知明（慶應義塾大学）
年会事務局　：　慶應義塾大学
内　容　　：　研究成果の発表（約300件を予定）、特別集会および分科会を開催する。

(2)　シンポジウム及び講演会

年会とは別に、各委員会や各分科会が大気環境に関するシンポジウム及び講演会を実施する。

1.3 表彰活動事業

大気環境に関する研究の表彰活動を通じて大気環境の研究を振興し、更なる普及啓発、学術及び文化の発展に寄与し、大気環境保全のために資することを目的として実施する。本法人が、表彰活動として実施する内容は、以下のとおりとする。

(1) 大気環境学会賞

会員2名以上の推薦による受賞候補者の中から選出された優秀な人に学術賞、功労賞、進歩賞、技術賞を授与する。

① 学術賞：国内外において学術上、ならびに社会的に顕著な業績をあげた人

② 功労賞：本法人または地域・社会に対して多大な功績をあげた人（年齢55歳以上）

③ 進歩賞：学術上優れた業績をあげた若手研究者（年齢40歳以下）

④ 技術賞：技術的に優れた業績をあげたか、或いは技術の普及に著しい功績をあげた人

(2) 大気環境学会論文賞

「大気環境学会誌」及び「AJAE」に掲載された研究論文（原著論文、ノート、速報、技術調査報告）を対象とし、学術的価値と社会的意義を鑑みて選考する。

1.4 運営等に関する会議の開催

(1) 第65回総会を令和6年9月12日（木）に開催する。

(2) 理事会及び常任理事会を開催し、当学会の運営に係る事項を審議する。

(3) その他、当学会の運営に必要な会議を開催する。

1.5 委員会の開催

(1) 倫理委員会を開催し、本法人に係る倫理問題について検討する。

(2) 編集委員会を開催し、大気環境学会誌の企画・編集を行なう。

(3) 国際交流委員会を開催し、日中韓学術交流の企画を行い国際交流活動の推進を図る。

(4) 学会賞選考委員会を開催し、学会賞候補者を選考する。

(5) 論文賞選考委員会を開催し、論文賞候補を選考する。

(6) 広報委員会を開催し、ホームページ等を活用して社会に対して学会活動等を広報する活動の推進を図る。

(7) 産官学民委員会を開催し、関連業界、国・自治体、大学、民間等との連携を図り、財務改善を図る。

(8) AJAE委員会を開催し、AJAE誌の企画・編集を行う。

(9) 年会委員会を開催し、今後の年会の開催方法を検討するとともに、年会実行委員会との連携を図る。

(10) 地方環境研究所等委員会を開催し、地環研における研究と学会における活動の促進を図る。
(11) 「大気環境未来60」募金委員会を開催し、募金の運用方法について検討する。
(12) 記録編纂委員会を開催し、大気環境問題に係わる出来事などの整理と記録を行う。

1.6 分科会等の活動

分科会、研究会における調査研究、講演会、シンポジウムの開催等の活動を推進する。

1.7 支部の活動

総会、講演会、セミナーなどの各支部の活動を推進する。

1.8 調査研究事業

大気環境の専門家である本法人の会員で構成される学会本体、分科会、または研究会などが行う調査研究を推進する。

また、公益性のある団体が募集する研究助成あるいは調査研究事業（以下、「公募研究等」という。）に積極的に応募することを推進する。なお、公募研究の応募にあたっては、「公益社団法人大気環境学会外部受託研究に関する内規」に従い、予め常任理事会の承認を得ることとする。

1.10 その他

(1) 会員との連絡を円滑に行うため、マイページの運用を促進する。
(2) 年会等参加費の徴収にWeb決済方式を活用する。
(3) 他学会との連携を促進し、大気環境学会の活性化を図る。

正味財産増減予算書

2024年 7月 1日から2025年6月30日まで

公益社団法人　大気環境学会　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減	2024予算備考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１．経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	10,340,000	10,510,000	△ 170,000	
正会員会費	6,630,000	6,800,000	△ 170,000	24年4月30日時点会員数663名×10,000円
学生会員会費	400,000	350,000	50,000	23年度実績
法人会員A会費	1,070,000	1,120,000	△ 50,000	24年4月30日時点会員数107団体×10,000円
法人会員B会費	1,440,000	1,440,000	0	24年4月30日時点会員数48団体×30,000円
賛助会員会費	800,000	800,000	0	24年4月30日時点会員数15団体16口×50,000円
事業収益	6,310,000	7,010,000	△ 700,000	
大気環境学会誌事業	1,160,000	1,100,000	60,000	
掲載料	600,000	600,000	0	23年度実績
広告料	360,000	300,000	60,000	バナー広告　3社
会誌販売	200,000	200,000	0	学会誌販売、入門講座販売分
セミナー事業	150,000	150,000	0	
年会事業	5,000,000	5,500,000	△ 500,000	第65回年会　24年9月11-13日 慶應義塾大学日吉キャンパス
参加費	2,000,000	2,000,000	0	
展示料	2,050,000	2,100,000	△ 50,000	
広告料	450,000	900,000	△ 450,000	
発表申込金	500,000	500,000	0	
調査研究事業	0	260,000	△ 260,000	
雑収益	150,100	100	150,000	
受取利息	100	100	0	
雑収益	150,000	0	150,000	著作権料、印税
経常収益計	16,800,100	17,520,100	△ 720,000	
(2) 経常費用				
事業費	16,907,000	16,857,000	50,000	
臨時雇賃金	200,000	300,000	△ 100,000	第65回年会：200,000円
会議費	365,000	115,000	250,000	第65回年会：350,000円 各委員会会議費：15,000円
旅費交通費	490,000	490,000	0	第65回年会：100,000円 各委員会交通費：140,000円
通信運搬費	130,000	180,000	△ 50,000	大気環境未来60:250,000円
消耗品費	200,000	420,000	△ 220,000	第65回年会：100,000円 表彰：80,000円 管理費按分：20,000円
印刷製本費	1,320,000	1,480,000	△ 160,000	学会誌合本(vol.59)印刷費：1,000,000円 年会：300,000円、管理費按分：20,000円
賃借料	800,000	500,000	300,000	第65回年会：800,000円
諸謝金	300,000	360,000	△ 60,000	第65回年会：100,000円 学会誌原稿料：200,000円
支払負担金	250,000	800,000	△ 550,000	AJAE諸費用
支払補助金	100,000	100,000	0	分科会補助金：100,000円
委託費	12,340,000	11,950,000	390,000	学会誌：4,500,000円(学会誌6号分の編集費、制作費) 年会：2,800,000円 管理費按分(事務局委託費)：5,040,000円
支払手数料	312,000	112,000	200,000	
未収会費放棄損	100,000	50,000	50,000	
管理費	2,111,000	2,031,000	80,000	
会議費	30,000	30,000	0	
旅費交通費	150,000	150,000	0	理事会、常任理事会交通費
通信運搬費	20,000	20,000	0	
消耗品費	5,000	10,000	△ 5,000	
印刷製本費	5,000	20,000	△ 15,000	
支払負担金	10,000	10,000	0	環境工学連合分担金
支払補助金	500,000	500,000	0	支部補助金：500,000円
委託費	1,260,000	1,200,000	60,000	事務局委託費
支払手数料	28,000	28,000	0	振込手数料
未収会費放棄損	100,000	50,000	50,000	
雑費	0	10,000	△ 10,000	
租税公課	3,000	3,000	0	
経常費用計	19,018,000	18,888,000	130,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,217,900	△ 1,367,900	△ 850,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 2,217,900	△ 1,367,900	△ 850,000	
２．経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 2,217,900	△ 1,367,900	△ 850,000	
一般正味財産期首残高	10,136,372	11,504,272	△ 1,367,900	
一般正味財産期末残高	7,918,472	10,136,372	△ 2,217,900	
Ⅱ　正味財産期末残高	7,918,472	10,136,372	△ 2,217,900	

正味財産増減予算書内訳表

2024年 7月 1日から2025年6月30日まで

公益社団法人　大気環境学会　　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引等消去	合　計
	会誌等発行事業		表彰	年会、講演会、シンポジウム等		調査研究	共通	小計			
	学会誌	AJAE		年会	大気環境未来60						
Ⅰ　一般正味財産増減の部											
１．経常増減の部											
(1) 経常収益											
受取会費	0	0	0	0	0	0	5,912,000	5,912,000	4,428,000	0	10,340,000
正会員会費	0	0	0	0	0	0	3,315,000	3,315,000	3,315,000	0	6,630,000
学生会員会費	0	0	0	0	0	0	280,000	280,000	120,000	0	400,000
法人会員A会費	0	0	0	0	0	0	749,000	749,000	321,000	0	1,070,000
法人会員B会費	0	0	0	0	0	0	1,008,000	1,008,000	432,000	0	1,440,000
賛助会員会費	0	0	0	0	0	0	560,000	560,000	240,000	0	800,000
事業収益	800,000	0	0	5,000,000	0	0	510,000	6,310,000	0	0	6,310,000
大気環境学会誌事業	800,000	0	0	0	0	0	360,000	1,160,000	0	0	1,160,000
掲載料	600,000	0	0	0	0	0	0	600,000	0	0	600,000
広告料	0	0	0	0	0	0	360,000	360,000	0	0	360,000
会誌販売	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	0	0	200,000
セミナー事業	0	0	0	0	0	0	150,000	150,000	0	0	150,000
年会事業	0	0	0	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0	0	5,000,000
参加費	0	0	0	2,000,000	0	0	0	2,000,000	0	0	2,000,000
展示料	0	0	0	2,050,000	0	0	0	2,050,000	0	0	2,050,000
広告料	0	0	0	450,000	0	0	0	450,000	0	0	450,000
発表申込金	0	0	0	500,000	0	0	0	500,000	0	0	500,000
調査研究事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	150,000	0	0	0	0	0	0	150,000	100	0	150,100
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	100
雑収益	150,000	0	0	0	0	0	0	150,000	0	0	150,000
経常収益計	950,000	0	0	5,000,000	0	0	6,422,000	12,372,000	4,428,100	0	16,800,100
(2) 経常費用											
事業費	5,810,000	200,000	125,000	5,000,000	300,000	0	5,472,000	16,907,000	0	0	16,907,000
臨時雇賃金	0	0	0	200,000	0	0	0	200,000	0	0	200,000
会議費	10,000	0	5,000	350,000		0	0	365,000	0	0	365,000
旅費交通費	100,000	0	40,000	100,000	250,000	0	0	490,000	0	0	490,000
通信運搬費	0	0	0	50,000	0	0	80,000	130,000	0	0	130,000
消耗品費	0	0	80,000	100,000	0	0	20,000	200,000	0	0	200,000
印刷製本費	1,000,000	0	0	300,000	0	0	20,000	1,320,000	0	0	1,320,000
賃借料	0	0	0	800,000	0	0	0	800,000	0	0	800,000
諸謝金	200,000	0	0	100,000	0	0	0	300,000	0	0	300,000
支払負担金	0	200,000	0	0	50,000	0	0	250,000	0	0	250,000
支払補助金	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0	0	100,000
委託費	4,500,000	0	0	2,800,000	0	0	5,040,000	12,340,000	0	0	12,340,000
支払手数料	0	0	0	200,000	0	0	112,000	312,000	0	0	312,000
未収会費放棄損	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0	0	100,000
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	2,111,000	0	2,111,000
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	0	30,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000	0	150,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000	0	5,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000	0	5,000
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000
支払補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	500,000	0	500,000
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	1,260,000	0	1,260,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	28,000	0	28,000
未収会費放棄損	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000	0	3,000
経常費用計	5,810,000	200,000	125,000	5,000,000	300,000	0	5,472,000	16,907,000	2,111,000	0	19,018,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,860,000	△ 200,000	△ 125,000	0	△ 300,000	0	950,000	△ 4,535,000	2,317,100	0	△ 2,217,900
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,860,000	△ 200,000	△ 125,000	0	△ 300,000	0	950,000	△ 4,535,000	2,317,100	0	△ 2,217,900
２．経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,860,000	△ 200,000	△ 125,000	0	△ 300,000	0	950,000	△ 4,535,000	2,317,100	0	△ 2,217,900
一般正味財産期首残高											10,318,936
一般正味財産期末残高											8,101,036
Ⅱ　正味財産期末残高											8,101,036

①費用配賦基準

管理費の配賦基準

科目名	公益目的 事業共通	法人会計	合計	備考
正会員会費	50%	50%	100%	
学生会員会費	70%	30%	100%	
法人会員A会費	70%	30%	100%	
法人会員B会費	70%	30%	100%	
賛助会員会費	70%	30%	100%	
通信運搬費	80%	20%	100%	
消耗品費	80%	20%	100%	
印刷製本費	80%	20%	100%	
委託費	80%	20%	100%	
支払手数料	80%	20%	100%	
未収会費放棄損	50%	50%	100%	

②管理費配賦額

管理費	予算総額	配賦金額		備考
		公益目的 事業共通	法人会計	
正会員会費	6,630,000	3,315,000	3,315,000	24年4月30日時点会員数663名×10,000円
学生会員会費	400,000	280,000	120,000	23年度実績
法人会員A会費	1,070,000	749,000	321,000	24年4月30日時点会員数107団体×10,000円
法人会員B会費	1,440,000	1,008,000	432,000	24年4月30日時点会員数48団体×30,000円
賛助会員会費	800,000	560,000	240,000	24年4月30日時点会員数15団体16口×50,000円
通信運搬費	100,000	80,000	20,000	会費請求送料10万円、事務局送料5万円
消耗品費	25,000	20,000	5,000	封筒代等
印刷製本費	25,000	20,000	5,000	総会資料印刷、事務局コピー代
委託費	6,300,000	5,040,000	1,260,000	算定基準書より600万円。24年度選挙あり30万円
支払手数料	140,000	112,000	28,000	
未収会費放棄損	200,000	100,000	100,000	
合計	**17,130,000**	11,284,000	5,846,000	

事業年度	自	令和6年7月1日	法人コード	
	至	令和7年6月30日	法人名	公益社団法人大気環境学会

資金調達及び設備投資の見込みについて

（1）資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定	なし

事業区分	事業番号	借入先	金額	使途
			円	
			円	

（2）設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定	なし

事業区分	事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途
			円	
			円	

名誉会員の推戴について

　このたび、理事会の推薦により、会長が指名した以下の 5 名の会員を大気環境学会名誉会員に推戴する。

・香川　順 会員(関東支部所属)
・平木隆年 会員(近畿支部所属)
・藤田慎一 会員(関東支部所属)
・岩本真二 会員(九州支部所属)
・坂東　博 会員(近畿支部所属)

(注１)定款第五条において名誉会員は以下のように定められている。
「この法人に対し功労のあった個人又は大気環境研究について顕著な功績のあった個人で理事会の推薦により会長が指名した者」
(注２)名誉会員推戴の目安(2022 年 6 月 10 日に理事会で承認)は以下のとおりである。
(1)会員歴(30 年以上)
(2)年齢(およそ 70 歳以上)
(3)役員歴(会長、副会長、各種委員会の長の経験者など)
(4)理事歴(２期以上)
(5)年会開催における顕著な貢献(年会長や年会実行委員長の経験者など)
(6)支部活動における顕著な貢献(支部長や副支部長の経験者など)
(7)大気環境研究や大気環境行政における顕著な功績(学術賞受賞者など)
(8)大気環境学会に対する顕著な功労(功労賞受賞者など)
上記の(1)と(2)に該当し、さらに(3)～(8)に一つ以上該当する会員を、理事会が推薦し、会長が名誉会員に指名する。

名誉会員候補者(2024 年度，令和 6 年度)の目安該当状況
・香川　順 会員 (該当項目：(1)(2)(5)(7))
・平木隆年 会員 (該当項目：(1)(2)(4)(6))
・藤田慎一 会員 (該当項目：(1)(2)(4)(7))
・岩本真二 会員 (該当項目：(1)(2)(4)(6)(8))
・坂東　博 会員 (該当項目：(1)(2)(4)(6)(7))

第 66 回及び第 67 回大気環境学会年会開催地

(1)　第 66 回大気環境学会年会予定

場所:東海国立大学機構　名古屋大学　東山キャンパス(名古屋市千種区不老町)

開催予定日: 2025 年 9 月初旬～中旬の水曜日～金曜日で調整中

年会長:長田　和雄(名古屋大学)

(2)　第 67 回大気環境学会年会予定

場所:東洋大学　川越キャンパス(埼玉県川越市鯨井 2100)

開催予定日: 2026 年 9 月 9 日(水)～9 月 11 日(金)

年会長:米持　真一(埼玉県環境科学国際センター)